

平成30年度第2回東成区区政会議 にぎわい・きずな部会

1 開催日時 平成31年3月6日（水） 19時30分から20時25分まで

2 開催場所 東成区民センター6階601集会室

3 出席者の氏名

【委員】

藤溪 達夫（議長）、中谷 誓吾（副議長）、阿形 正一、井上 吉史、高橋 芙美子、
松田 好行、吉谷 忠之、吉本 紀美子

【東成区役所】

中須賀 孝（総合企画担当課長）、大野 聡（市民協働課長）、植田 浩史（市民協働
課長代理）、藤原 吉生（まちづくり・にぎわい創造担当課長代理）、志賀 浩（市民
協働課担当係長）

4 委員に意見を求めた事項

平成31年度東成区運営方針（案）及び予算（案）の振り返り等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

【藤溪議長】 皆さん、こんばんは。議長ということで藤溪が担当させていただきます。
後で申し上げますけども、とにかくこの話し合いの自由交換の意見交換の時間が大変短う
ございます。したがって、活発な意見を出していただきますことをまずもってよろしくお
願いしておきます。

この部会は「安全で安心なまちづくり」と「まちの魅力向上」にかかわっての皆さん方
から意見や提案を述べていただく会議になっております。時間設定が非常に厳しくて、最
初の15分間は区役所からの説明です。30分間が自由意見の交換。そして、10分間が
ここで話し合ったことの意見や提案のまとめ。こういう時間帯になっていますので、意見
交換の時間が30分、しかも7つテーマがあるということをご承知いただきたいと思うん
です。

急な提案といいますか、申しわけないんですけど、7ページに7つのテーマがありまし

て、これを30分で切って4分間ですので、どう考えても無理やと。これ、読み返して無理やと思いましたので、まず、3ページ、4ページ、見ていただけますか。安全・安心なまちづくりのところで「防災対策」「防犯・安全対策」。実は前回、ちょうど北部大阪地震があつて、さらに21号、24号の台風があつて、そこに話が集中してしまって、後半の部分があまり時間がなかったということで反省で、バランス上、今回のこの1番、2番をカットして、あとのまちづくりのほうに集中したいと思うんですが、いかがでございましょうか。

（「結構です」の声あり）

【藤溪議長】 そうですか。よろしゅうございますか。なら、独断で申しわけないんですが、そういう形をとらせていただきます。

先ほどのこの資料の2ページを見ていただけますか。2ページの下の円グラフを見ていただきたいと思うんですね。先ほども説明ありましたように、この円グラフを見ますと、この我々の担当する部門、1番が9.3%、4番のまちの魅力向上が50.4%。つまり、この部会は予算の60%と非常に責任の重たい部会であることをまず皆さんで自覚いただいて、活発な意見をお願いしたいと思います。

それでは、もうどんどん移らせていただきます。その前に、まず区役所から説明よろしくをお願いします。

【大野課長】 そしたら、市民協働課長の太野でございます。どうぞよろしく申し上げます。先ほど総務課長から説明もありましたので、重複しないように説明させていただきますと思います。

まず、この資料3のページで3ページになります。安全・安心なまちづくりの「防災対策」というところからになりますが、1つ目の防災対策事業の拡充ということで699万3,000円という説明がありました。内容につきましては、先ほどご説明のとおりなんですけども、それに加えてまして情報発信力強化ということで、1月からラインによる一斉情報配信というのを始めさせていただいております。本日の時点で633件のお友達の登録をいただいております。発災時には被害状況ですとか避難の情報をお伝えすることはもちろんのこと、平時には月2回程度の防災豆知識の配信ということで始めさせていただいております。これが防災対策事業の追加のネタとなっております。

次に4ページになります。地域安全対策事業ということで、165万7,000円となっております。こちらにつきましては、例年同様、就学前児童などの子ども向けの防犯教室

の開催ですとか、地域の見守り隊などと連携した青パトによる巡回、あと、安全・安心ミニフェスタの開催ということでさせていただきます。

次の鶴橋駅前自転車等通行環境改善事業と長いのがあるんですけども、これが予算で160万6,000円となっております。駅周辺の自転車の整理啓発指導員の配置でありますとか、マナーアップキャンペーンの実施ということで予定しております。

その他で大きいのはこのCM事業といいまして、区の予算ではないんですけども、市民部で予算つけてもらっています夜間の青色防犯パトロールの事業ですとか、あと、建設局の予算としては街路防犯灯の設置の事業ですとか放置自転車の対策の事業ということで3,171万2,000円ということになっております。

【中須賀課長】 続きまして、ページで言うたら、次は9ページ。④のまちの魅力向上のところですね。先ほど総務課長からありましたひがしなり企業区民連携フォーラム、今年度から始めたものです。300万円でスタートして、来年度は拡充ということで500万円の予算を組んでいます。来年度実際どういうふうに行っていくか、今、提案を民間の企業さんから受け付けているところです。先ほどもありましたし、ここに書いておりますように、企業等の皆さん、このCSR、CSV、下に米印でちょっと注釈、説明を入れさせてもらっていますけど、CSRが企業の社会的責任、CSVは共通価値の創造ということで、そういった枠組みの中で地域課題の解決に向けて取り組んでいけないかということで事業を始めたものです。来年度は一層充実させて、課題解決に向けて、プラスアルファで留学生の参画も予定してまして、より広範な、広い意見を取り入れていきたいと考えています。

【藤原課長代理】 続きまして、10ページになるんですが、「東成区の地域資源」魅力発信事業ということで、予算額176万2,000円ということで、事業としては大きい事業が2つございます。モノづくりを中心とした地域資源を、次世代を担う子どもたちに伝えるため、工場見学とモノづくり体験イベントを実施するということで、工場見学は区内の工場ですね。今年度であれば、ワイビィーという自動車や家電部品の試作品を製造している会社に20名参加していただいたと。あと、モノづくりの体験イベントにつきましては、今年度でいえば、今月の16日土曜日、区民センターでモノづくりのブースを19個ほど出しまして実施すると。去年実績でいいますと、700名ほどの参加がございましたということです。

もう1つが大阪市立大学との連携による区内地域資源情報等の新たな発信方法の構築と

ということで、市立大学との連携による事業なんです、昔の地図であるとか、絵地図とか古文書、あと、市大生とまち歩きしまして、地域の資源を収集しまして、その収集した情報をデジタルアーカイブにしまして情報発信すると。パソコンとかスマホで情報発信していくという事業ですね。これを合わせて176万2,000円となっております。

以上でございます。

【大野課長】 続きまして、11ページになります。市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化事業ということで、30年度から始まりました2カ年目の事業となります。地域のつながりの希薄化ですとか活動の担い手不足といった地域の課題解決を目指した協働の委託事業ということになっております。30年度につきましては8地域から提案がありまして、実施されております。ご案内しておきますと、3月の11日に午後3時から区役所の1階のパンジーで本事業の報告会が行われるということになっております。もし、ご都合がございましたら、またぜひお越しいただければと思います。

その下、その他の事業となっておりますが、地域活動協議会の補助金で1,500万円といわゆるまちづくりセンターの運営費に1,490万1,000円ということになってございます。

【藤原課長代理】 続きまして、12ページなんです、東成区の伝統工芸活用事業、拡充なんです、これが予算額287万9,000円。1つが東成区の伝統工芸である菅細工^{すがは}の魅力を区内外へ発信するための映像制作、あと1点が菅細工体験教室の開催及び菅細工支援の実施ということで、映像制作につきましては、予算的には200万ほどかけて実施いたします。菅細工^{すがは}というのは天皇即位の大嘗祭であるとか、式年遷宮ですね。伊勢神宮の式年遷宮に大きい菅笠を献納します。そういう過程、歴史を映像にして内外に発信するという事業でございます。

以上でございます。

【中須賀課長】 最後に13ページになりますね。子どもたちと体験するSDGs事業ということで新規です。これ、森林環境譲与税というのが創設されて、国から大阪に1億円おりてくるんです。それをこちら、こういう事業をやりたいということで提案したら認められたというものです。市税とは別口でとってきたというか。予算的には300万円ですけど、ご承知の方もいらっしゃるかもわかりませんが、今まで11月ごろに自然ふれあいフェスタというのをやっていました。

(「南中本公園やね」の声あり)

【中須賀課長】 はい、そうですね。そのもっと発展させて、保護者と子どもたちがそういうイベント、木工体験を通じて、見る、聞く、触れるというような直接的な体験を通じて、森林をはじめとする自然環境について考え、学ぶ機会にしたいというものです。これも現在どういうイベントにするか提案を募集しているところです。

説明は以上になります。

【藤溪議長】 ありがとうございました。

それでは、ただいまの5つのページのテーマに基づいて説明を受けましたので、これから皆さん方からのご質問なりご意見をいただいて、区役所の方のほうでホワイトボードで意見をまとめていただくことになっていきますので、よろしくお願いします。これはもう自由意見の交換の場で、勉強会と言うておりますので、一旦議事の記録は中断するということになっていきます。

<部会での自由な意見交換>

【藤溪議長】 ちょうど時間が来てしまいました。申し訳ありませんけども。もう特急で突っ走った感じで申し訳ございませんが、今から10分間で大体ホワイトボードにまとめていただいたものの中で、それで後の全体会でどれを強調するというのか、どれを中心に報告したらいいのか、ちょっとご意見を。こういう機会ですので、ご参加いただいている皆さん、お1人1回ずつ、これがいいと思う、もうそれだけでも結構ですので、この前のホワイトボードの中で報告したほうがいいのか、強調したほうがいいのかということについてちょっとご意見をいただきたいと思います。

阿形さんから。

【阿形委員】 今からだと留学生との関わり。これ、やっぱり大事にしないといかんのかなと。

【藤溪議長】 一番最初のものですね。

【阿形委員】 できるだけ大阪にとどまる。ましてや東成に来てもらうというのもいいんじゃないかなと思うんですけどね。

【中谷副議長】 留学生との交流ということですか。

【藤溪議長】 交流ね。他文化共生。

まず、この1番のフォーラム構築事業で留学生の参加、交流を強調したいという意見でしたが、吉谷さんはどうですか。

【吉谷委員】 私は、さっき自分で言いましたが、東成工業会の中心的な役員をしていますから、皆さんにもし、そういう要望があれば、役員の招集をかけるのはこっちがもういわゆるリーダーなんですから、皆、集めやすいと思うので、要望、ほんとうにご遠慮なくね。東成はほんとうにいろんな大きい企業もあれば小さい企業もあれば、ユニークな技術を持った業者がおりますから、ご遠慮なくお声がけくださいと。

【中谷副議長】 東成区の地域資源なんですからね。

【吉谷委員】 そうですね。

【藤溪議長】 そうですね。モノづくりの。これは今、10ページを強調ということになっています。

中谷会長、何かあの中で、特にこれを。

【中谷副議長】 いや、私、これがいいな。

【藤溪議長】 これですか。これを強調ね。モノづくりフェスタおいでませということ。確かに……。

【井上委員】 これ、もう近々なんで。もう10日後やねん。

【藤溪議長】 そこで管^{すが}細工の体験もできるという。

【井上委員】 できます、できます。

【中谷副議長】 そして、集まった人たちでも来てもらったらいい。

【井上委員】 そうですね。

【藤溪議長】 いや、去年、僕はほんま参加させてもらってよかったと思います。お勧めの。

【井上委員】 私、1つだけ忘れていたんですけど、こういうイベントとかせめてこのにぎわいのメンバーだけでも何か送るとかね。今日来て、私も知らないイベントたくさんあるんですけど、こういうチラシができた時点で送るとするのはどうなんですかね。

【中谷副議長】 そうですね。せめてメンバーにね。

【井上委員】 このメンバーだけでもね。

【藤溪議長】 それで、15名のこの委員さんだけでもね。

【井上委員】 各地域いろんなイベントやっているので、多分、チラシができるタイミングとかもあると思うんですけど、できたら、年に何回か送っていただいたら、ああ、こんなことやってるんやということで、お互いに知ることができますので。

【藤溪議長】 ということで、これは区役所で、何とかまたご一報いただきたいと思い

ます。

どうですか。ほんなら、松田さん。

【松田委員】 そうですか、じゃ。一応私のところは今の。

【藤溪議長】 商店街の活性化。地域のね。

【松田委員】 もう今、そのことで精いっぱいやっとりますので。

【藤溪議長】 はい、これはもう強調して。

【中谷副議長】 新道なんかのほうもそうやね。ほんなら。

【松田委員】 そうそう。新道のまだ一部なんですけどね。

【藤溪議長】 ということで、今の10ページの地域資源の活性化というんですかね。

そしたら、ほんなら高橋さん、1つ。

【高橋委員】 私も商店街の活性化なんですけど、今、今里の筋では市大の学生さんらと何かいろいろコミュニケーションして、やっぱり若い方がいろんなので、ラインとかで連絡取り合うて前向きにしているので、松田さまと一緒にまたやっていったらいいの違うかなと思っています。

【藤溪議長】 そうですね。深江さんのチャレンジをさらに広めていくとか。

【高橋委員】 そうそう。今、商店街が廃っていくからね。

【藤溪議長】 シャッターの閉まっているところが多くなってきましたからね。

【高橋委員】 シャッター商店街が多いですからね。ちょっとでも盛り上げて。やっぱり商売がうまくいかんとまちがにぎやかになりませんのでね。

【藤溪議長】 そうですね。活性化。

吉本さん。

【吉本委員】 私はフォーラム構築事業というの、ちょっと勉強不足で初めてお聞きしたような感じなので、これもうちょっと奥深くとかいうので、もっとよそに、皆さんに知っていただくように。初めて聞いた言葉なのでね。

【藤溪議長】 まだ何か漠然とした感じ。私らでもね。

【中谷副議長】 漠然としとるよね。

【藤溪議長】 もうちょっと具体化されたものがね。我々、少なくともこのメンバーには示していただいたほうがいい。あと、このメンバーであともう1回ありましたよね。6月。

【藤原課長代理】 もう1回、はい。

【藤溪議長】 そのときまでにちょっとう。皆さん期待してはりますので、もうちょっと具体的なフォーラムの案。先ほど何でしたかね。あの。

【井上委員】 ソケットですか。

【藤溪議長】 ソケットの欠点もまたちょっと、我々に何かこういうのがありますよということを知らせていただいたら。

【中谷副議長】 あれ、ロケットもじってソケットにしたんですか。

【井上委員】 いや、違います。電球の明かりのイメージなんですけどね。

【中谷副議長】 ああ、なるほど。

【中須賀課長】 松下幸之助さんの起業の地で。そのひがしなり企業フォーラムの正式名称がひがしなり企業区民連携フォーラムというんですけど。その愛称がひがしなりソケットになるんですね。

【中谷副議長】 愛称か、なるほど。

【中須賀課長】 同じことなんですけどね。

【松田委員】 これ、なかなか想像が。

【井上委員】 そやから、電球は皆さん、それぞれなんですよ。ソケットはその電気を供給する受け口なんですよ。

【中須賀課長】 ぽっと明かりがつくじゃないですか、あっちこっちで。

【藤溪議長】 この下の^ラ ^ボLAB. って何ですの。これがちょっとわからんけどね。ソケット^ラ ^ボLAB.。

【中須賀課長】 ラボって言っているんですけど。

【藤溪議長】 ランプじゃないねんな。

【井上委員】 研究室みたいな意味なんですけどね。研究というか、そこで集まっている、研究というか話し合いをしようというような感じのところなんですね。

【中谷副議長】 片仮名が氾濫しているから。

【井上委員】 そうですね。

【藤溪議長】 こういうのにこのメンバー、ちょっと見学会でも。

【中谷副議長】 そうやね、勉強会せんといかんね。

【藤溪議長】 勉強会せんと、ちょっと我々もね。ほな、最後に井上さん。

【井上委員】 もう十分しゃべらせていただきましたので。

【藤溪議長】 そうですか。アンカーどうですか。

【井上委員】 もう時間もあれなんで。

【藤溪議長】 トリをちょっと、締めていただいて。

【井上委員】 とりあえず、これをちょっとお願いしますということで。

【藤溪議長】 それを強調ね。

【井上委員】 お願いしますということで。皆さんに来ていただきたいと思いますので。

【藤溪議長】 というところで、ほんなら、今の青線引っ張ってもらったところをちょっと報告させてもらいましょうかね。ほな、どうもえらいご協力いただいて。突っ走りまして申し訳ございません。皆さん、いろいろ意見出していただきまして、ほんとうにありがとうございました。

<全体会議会議録に続く>